

# 法 適 用 企 業

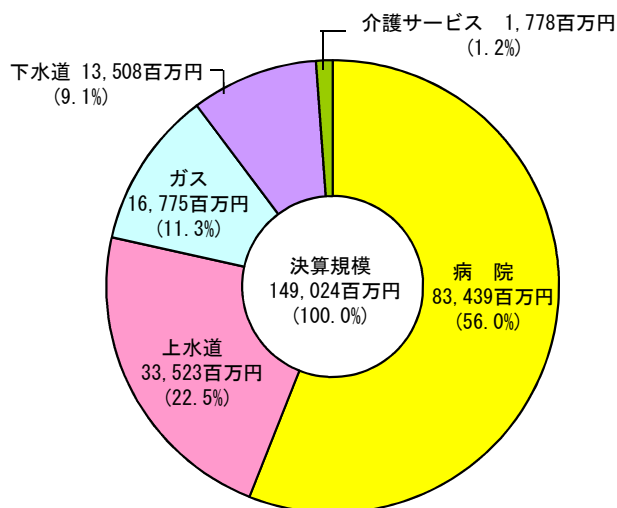
## 1 事業規模

平成23年度の市町および一部事務組合等が経営する法適用企業の数、は、昨年度と同様の33事業である。事業別では、上水道事業19事業、下水道事業1事業、病院事業9事業、ガス事業1事業、介護サービス事業3事業となっている。

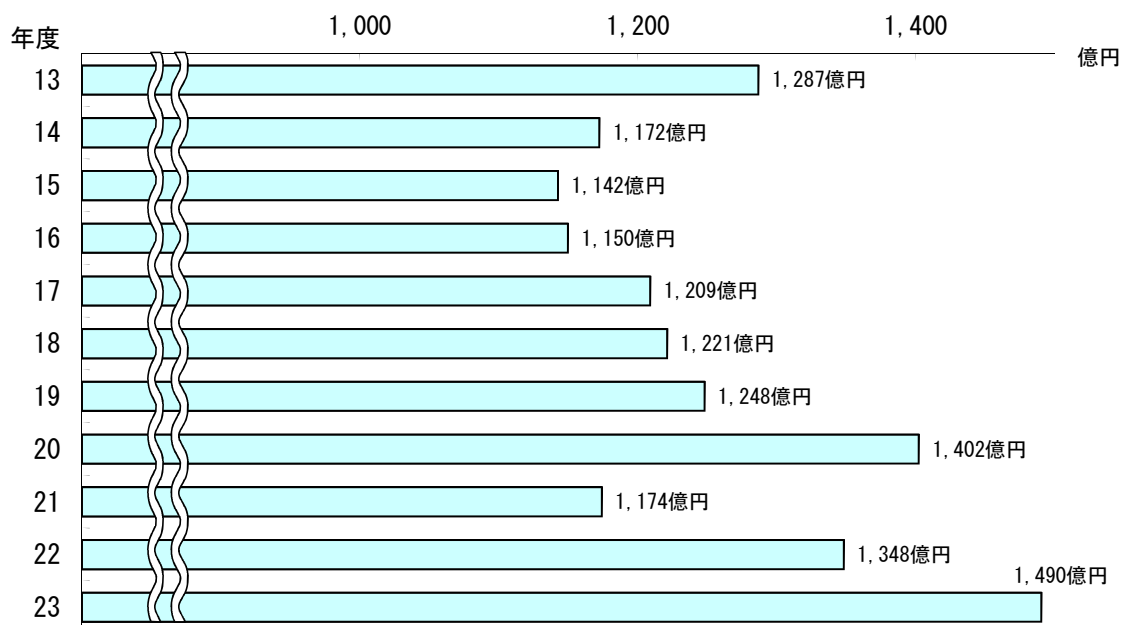
平成23年度の決算規模は、149,024百万円で、前年度に比べ14,223百万円、10.6%増加となっている。また、決算規模の推移、事業別の決算規模は、第1図、第2図のとおりとなっている。

※ 決算規模＝総費用－減価償却費＋資本的支出

第1図 決算規模でみた地方公営企業の状況



第2図 決算規模の推移



## 2 経営状況

### (1) 収益的収支

平成23年度の総収支の状況を見ると、黒字事業は27事業（前年度23事業）で全体の81.8%、赤字事業は6事業（前年度10事業）で全体の18.2%となっている。赤字事業の内訳は、上水道事業1事業、病院事業3事業、介護サービス事業2事業となっている。

総収益は122,781百万円で、前年度（121,941百万円）に比べ840百万円（0.7%）増加し、総費用は120,802百万円で、前年度（114,346百万円）に比べ6,456百万円（5.6%）増加している。この結果、純損益（純利益－純損失）は1,979百万円の黒字となり、前年度（7,595百万円）より5,616百万円減少した。また、総収支比率は101.6%と前年度より5.0ポイント下落している。

収益的収支のうち経常収支の状況を見ると、経常収益は121,919百万円で前年度（120,018百万円）に比べ1,900百万円（1.6%）増加したものの、経常費用が116,150百万円で前年度（113,558百万円）に比べ2,592百万円（2.3%）増加したため、経常収支比率は前年度に比べ0.7ポイント下落し、105.0%となっている。

第 1 表 収益的収支の状況

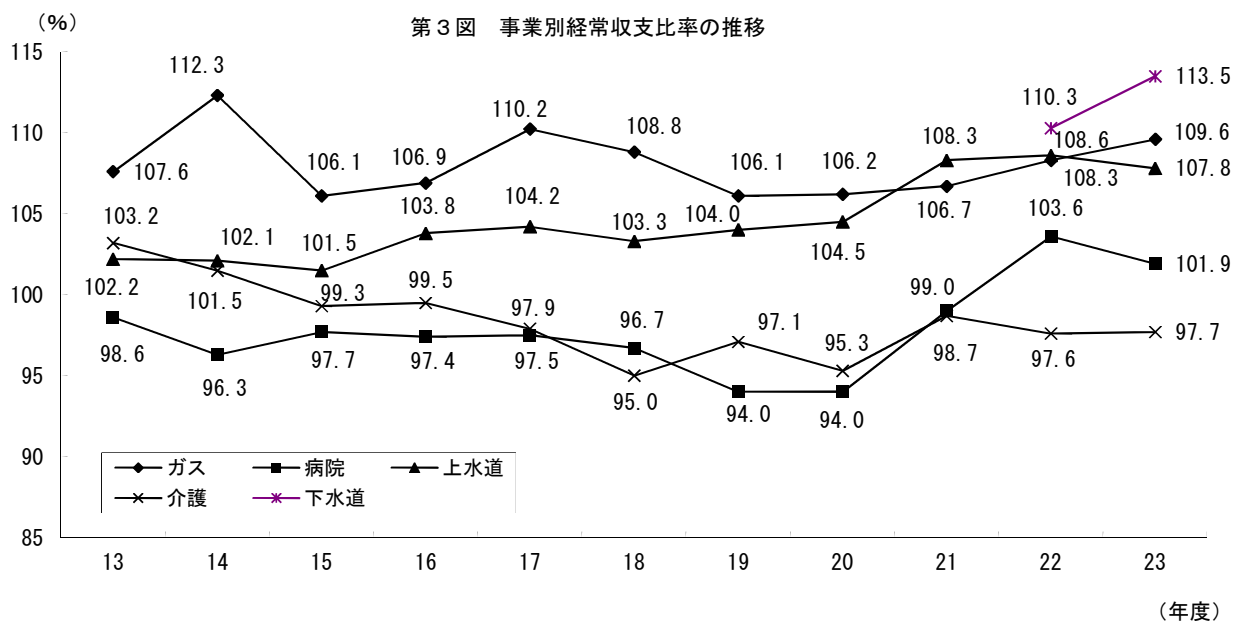
（単位：千円、%）

項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C)/(A)
総収益		104,953,624	121,940,929	122,781,168	840,239	0.7
経常収益		104,835,143	120,018,226	121,918,677	1,900,451	1.6
営業収益		96,425,248	107,887,894	110,422,012	2,534,118	2.3
営業収益（受託工事収益除く）		95,594,455	107,336,660	110,004,084	2,667,424	2.5
総費用		102,848,054	114,346,001	120,802,395	6,456,394	5.6
経常費用		102,603,957	113,558,426	116,149,930	2,591,504	2.3
単年度純利益		3,292,766	8,199,248	6,581,840	△ 1,617,408	△ 19.7
単年度純損失		1,205,196	604,320	4,603,067	3,998,747	661.7
単年度経常利益		3,444,335	7,042,307	6,164,674	△ 877,633	△ 12.5
単年度経常損失		1,213,149	582,507	395,927	△ 186,580	△ 32.0
累積欠損金		30,912,368	29,191,983	32,774,436	3,582,453	12.3
不良債務		648,834	325,255	-	△ 325,255	皆減
総収支比率		102.0	106.6	101.6	△ 5.0	△ 4.7
経常収支比率		102.2	105.7	105.0	△ 0.7	△ 0.7
営業収益 に対する 比率	単年度欠損金比率	1.3	0.6	4.2	3.6	600.0
	累積欠損金比率	32.3	27.2	29.8	2.6	9.6
	不良債務比率	0.7	0.3	0.0	△ 0.3	△ 100.0
事業数		32	33	33	0	0.0
単年度欠損金のある事業数		15	10	6	△ 4	△ 40.0
累積欠損金のある事業数		13	13	12	△ 1	△ 7.7
不良債務のある事業数		1	1	-	△ 1	皆減
赤業 字数 の割 事合	単年度欠損金のある事業 等の 累積欠損金のある事業 不良債務のある事業	46.9	33.3	18.2	△ 15.1	△ 45.3
		43.8	39.4	36.4	△ 3.0	△ 7.6
		3.1	3.0	-	△ 3.0	△ 100.0

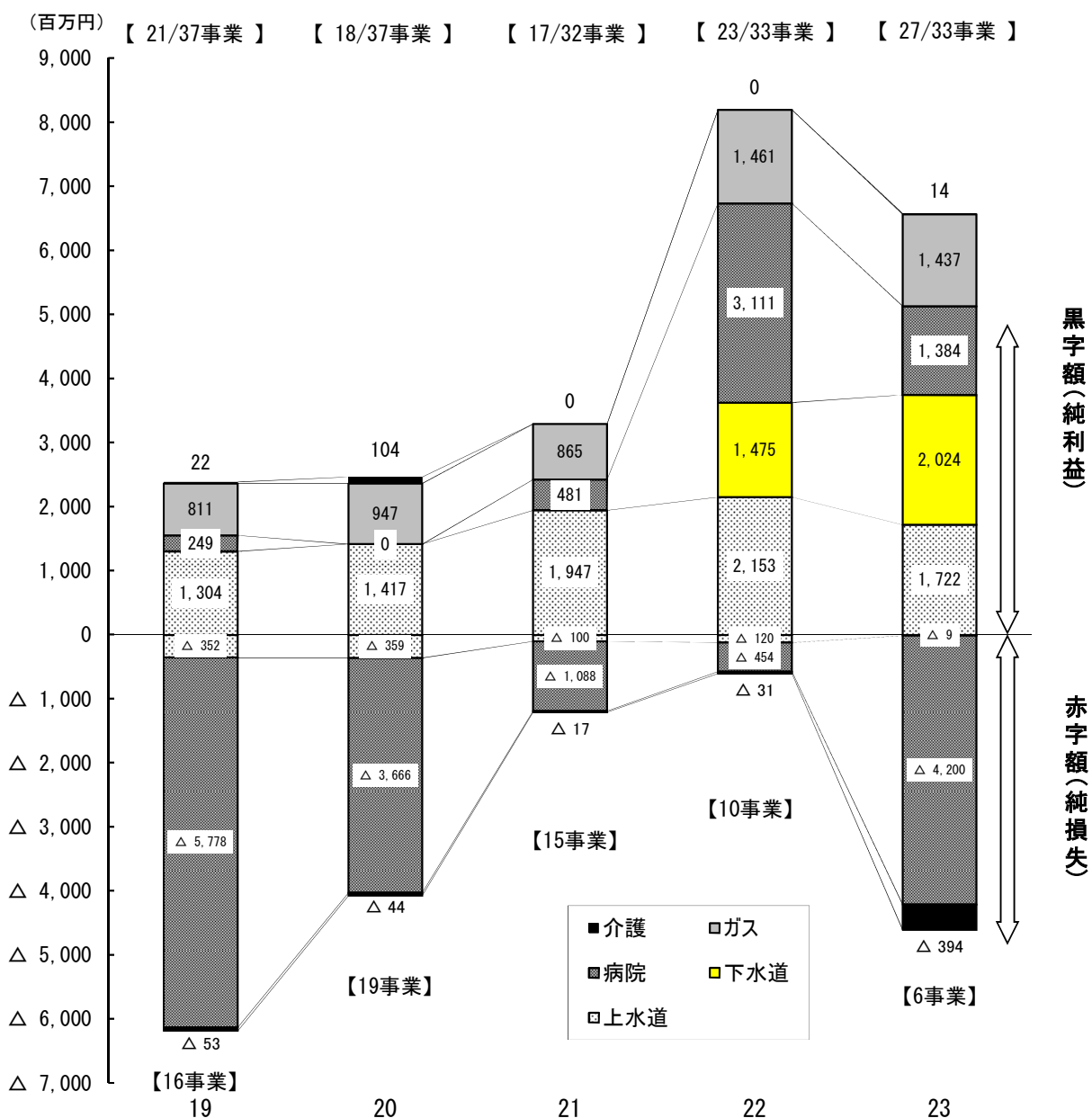
第 2 表 事業別収益的収支の状況

(単位：千円、%)

事業 項目	事業						
	全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	
総 収 益	122,781,168	25,876,073	10,898,085	68,176,578	16,455,016	1,375,416	
経 常 収 益	121,918,677	25,845,454	10,067,389	68,175,402	16,455,016	1,375,416	
営 業 収 益	110,422,012	24,563,007	7,204,160	61,486,810	16,078,726	1,089,309	
営業収益(受託工事収益除く)	110,004,084	24,393,046	7,204,160	61,486,810	15,830,759	1,089,309	
総 費 用	120,802,395	24,162,838	8,874,183	70,992,207	15,017,850	1,755,317	
経 常 費 用	116,149,930	23,971,047	8,868,764	66,889,392	15,012,259	1,408,468	
単年度純利益	6,581,840	1,722,444	2,023,902	1,384,288	1,437,166	14,040	
純損失	4,603,067	9,209	-	4,199,917	-	393,941	
単年度経常利益	6,164,674	1,883,610	1,198,625	1,625,642	1,442,757	14,040	
経常損失	395,927	9,203	-	339,632	-	47,092	
累積欠損金	32,774,436	1,433,083	-	30,776,676	-	564,677	
不良債務	-	-	-	-	-	-	
総収支比率	101.6	107.1	122.8	96.0	109.6	78.4	
経常収支比率	105.0	107.8	113.5	101.9	109.6	97.7	
営業収益 に対する 比率	単年度欠損金比率	4.2	0.0	-	6.8	-	36.2
	累積欠損金比率	29.8	5.9	-	50.1	-	51.8
	不良債務比率	0.0	-	-	-	-	-
事業数	33	19	1	9	1	3	
単年度欠損金のある事業数	6	1	-	3	-	2	
累積欠損金のある事業数	12	3	-	7	-	2	
不良債務のある事業数	-	-	-	-	-	-	
赤業 字数 等の 割合 事合							
単年度欠損金のある事業	18.2	5.3	-	33.3	-	66.7	
累積欠損金のある事業	36.4	15.8	-	77.8	-	66.7	
不良債務のある事業	-	-	-	-	-	-	



第4図 収益的収支における黒字額・赤字額の推移



(2) 資本的収支

資本的支出は45,097百万円で、前年度(37,346百万円)に比べ7,750百万円(20.8%)増加している。その内訳は、建設改良費が26,158百万円で全体の58.0%を占め、次いで企業債償還金(元金)が15,339百万円(全体の34.0%)となっている。

資金的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が25,788百万円(資本的支出に対する割合57.2%)、損益勘定留保資金等の内部資金が19,309百万円(同42.8%)となっている。

第 3 表 資本的収支の推移

(単位：千円、%)

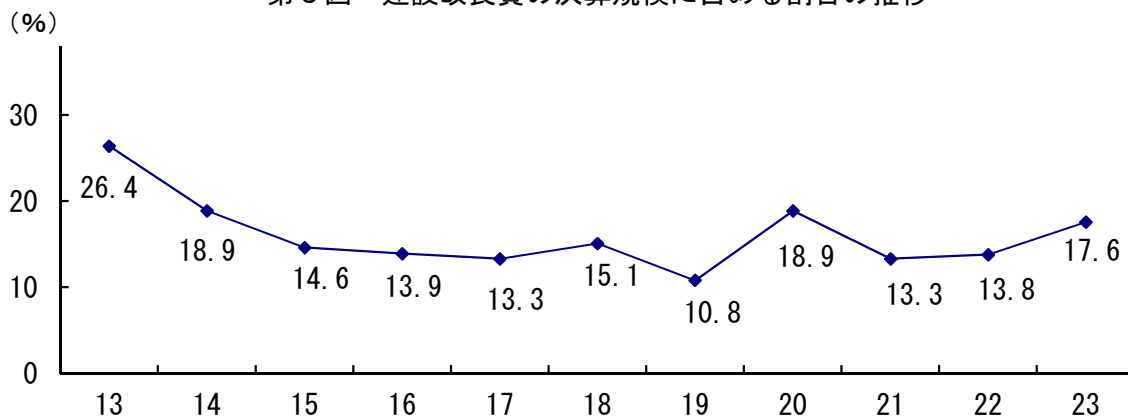
項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
資本的支出						
建設改良費		15,663,356	18,573,518	26,157,801	7,584,283	40.8
企業債償還金		10,226,062	15,168,851	15,338,977	170,126	1.1
その他		1,440,492	3,604,011	3,599,999	△ 4,012	△ 0.1
計		27,329,910	37,346,380	45,096,777	7,750,397	20.8
上部財源						
内部資金		15,211,408	19,234,400	19,308,967	74,567	0.4
外部資金		12,175,771	18,111,980	25,787,810	7,675,830	42.4
企業債		6,380,500	6,577,200	11,637,100	5,059,900	76.9
他会計出資金等		3,143,723	4,106,550	5,835,930	1,729,380	42.1
その他		2,651,548	7,428,230	8,314,780	886,550	11.9
計		27,387,179	37,346,380	45,096,777	7,750,397	20.8
差引資金不足		-	-	-	-	-

第 4 表 事業別資本的収支

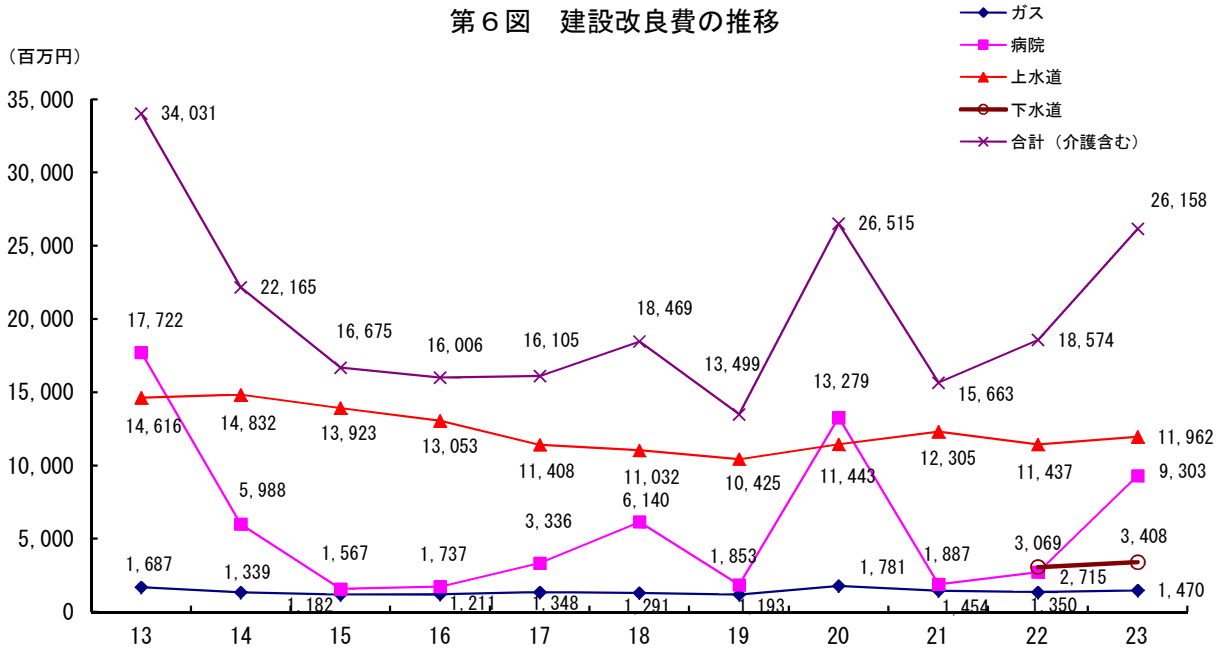
(単位：千円)

項目	事業	全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス
建設改良費		26,157,801	11,961,973	3,408,434	9,302,567	1,469,571	15,256
企業債償還金		15,338,977	5,326,414	5,161,588	4,358,685	397,530	94,760
その他		3,599,999	4,637	0	2,595,532	999,830	-
計		45,096,777	17,293,024	8,570,022	16,256,784	2,866,931	110,016
上部財源							
内部資金		19,308,967	10,032,454	4,594,692	2,758,141	1,847,361	76,319
外部資金		25,787,810	7,260,570	3,975,330	13,498,643	1,019,570	33,697
企業債		11,637,100	5,556,100	1,600,900	4,480,100	-	-
他会計出資金等		5,835,930	332,979	857,313	4,611,941	-	33,697
その他		8,314,780	1,371,491	1,517,117	4,406,602	1,019,570	-
計		45,096,777	17,293,024	8,570,022	16,256,784	2,866,931	110,016
差引資金不足		-	-	-	-	-	-

第 5 図 建設改良費の決算規模に占める割合の推移



第6図 建設改良費の推移



### 3 料金収入

平成23年度の料金収入は105,598百万円で、前年度（103,351百万円）に比べ2,247百万円（2.2%）増加している。

料金収入の大きい主な事業は、病院事業が58,002百万円（料金収入の54.9%）で最も大きく、次いで上水道事業23,861百万円（同22.6%）となっており、これら2事業で77.5%を占めている。

また、前年度に比べ料金収入が増加した事業は、ガス事業で1,313百万円（対前年度比9.0%）、次いで病院事業で1,186百万円（同2.1%）の増加となっている。一方、減少した事業は、上水道事業で260百万円（同△1.1%）、下水道事業で73百万円（同△1.1%）の減少となっている。

なお、総収益に占める料金収入の割合は86.0%（前年度84.8%）となっており、総収益に占める料金収入の割合が大きな事業は、ガス事業で96.2%（同92.9%）と最も大きく、次いで上水道事業で92.2%（同92.3%）となっている。

第5表 事業別料金収入の推移

(単位：千円、%)

項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A)	(C) / (A)
上水道		23,844,723 (91.6%)	24,121,118 (92.3%)	23,861,023 (92.2%)	△ 260,095	△ 1.1
下水道		-	6,890,194 (64.4%)	6,817,178 (62.6%)	△ 73,016	△ 1.1
病院		53,682,355 (84.0%)	56,816,104 (83.3%)	58,001,997 (85.1%)	1,185,893	2.1
ガス		13,308,282 (96.5%)	14,517,003 (92.9%)	15,830,452 (96.2%)	1,313,449	9.0
介護サービス		854,703 (70.0%)	1,006,222 (78.9%)	1,086,989 (79.0%)	80,767	8.0
計		91,690,063 (87.4%)	103,350,641 (84.8%)	105,597,639 (86.0%)	2,246,998	2.2

※ ( ) 内の数値は、総収益に占める料金収入比率

## 4 企業債現在高

平成23年度末における企業債の現在高は226,805百万円で、前年度（230,507百万円）に比べ3,702百万円（△1.6%）減少している。

企業債現在高が大きい主な事業は、上水道が85,540百万円（全体の37.7%）で最も大きく、次いで下水道事業68,554百万円（同30.2%）となっており、これら2事業で67.9%を占めている。

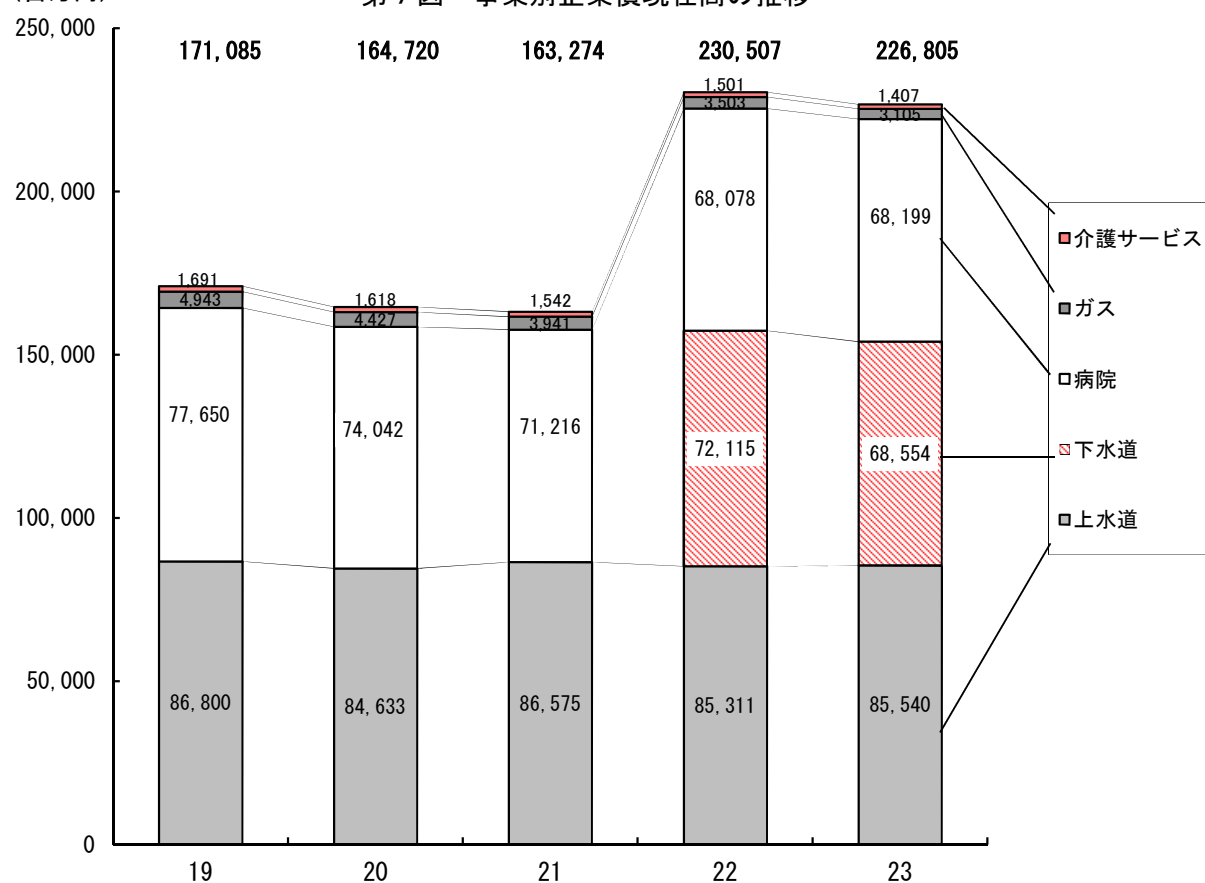
第6表 事業別企業債残高の推移

（単位：千円、%）

項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
上水道		86,575,204	85,310,618	85,540,305	229,687	0.3
下水道		-	72,114,522	68,553,835	△ 3,560,687	△ 4.9
病院		71,216,119	68,077,711	68,199,124	121,413	0.2
ガス		3,940,509	3,502,686	3,105,156	△ 397,530	△ 11.3
介護サービス		1,541,985	1,501,314	1,406,554	△ 94,760	△ 6.3
計		163,273,817	230,506,851	226,804,974	△ 3,701,877	△ 1.6

（百万円）

第7図 事業別企業債現在高の推移



## 5 他会計繰入金

地方公営企業に対しては地方公営企業法等に基づき他会計からの繰入れが行われており、平成23年度繰入額は16,683百万円で、前年度（15,690百万円）に比べ993百万円（6.3%）増加している。

この内訳をみると、収益的収入への繰入金が10,821百万円、資本的収入への繰入金が5,862百万円となっており、前年度に比べ収益的収入への繰入れは762百万円（対前年度比△6.6%）減少しており、資本的収入への繰入れでは1,755百万円（同42.7%）増加している。

繰入額が大きい主な事業は、病院事業で11,428百万円（全体の68.5%）で最も多く、次いで下水道事業4,024百万円（同24.1%）となっている。

なお、前年度に比べ繰入額が増加した事業は、病院事業で1,454百万円（対前年度比14.6%）の増加、次いで介護サービス事業で30百万円（同17.8%）の増加、ガス事業で8百万円（同99.1%）の増加となっている。一方、減少した事業は、下水道事業で251百万円（同△5.9%）の減少、上水道事業で250百万円（同△19.8%）の減少となっている。

第 7 表 事業別他会計繰入金

（単位：千円、%）

項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
上水道		1,263,251	1,263,593	1,013,916	△ 249,677	△ 19.8
下水道		-	4,274,666	4,024,002	△ 250,664	△ 5.9
病院		9,311,259	9,973,354	11,427,676	1,454,322	14.6
ガス		-	8,545	17,015	8,470	99.1
介護サービス		438,325	169,965	200,252	30,287	17.8
計		11,012,835	15,690,123	16,682,861	992,738	6.3

第 8 表 収益的収入への他会計繰入金

（単位：千円、%）

項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
上水道		694,571	716,701	680,937	△ 35,764	△ 5.0
下水道		-	3,232,276	3,166,689	△ 65,587	△ 2.0
病院		6,847,772	7,488,695	6,790,066	△ 698,629	△ 9.3
ガス		-	8,545	17,015	8,470	99.1
介護サービス		326,769	137,356	166,555	29,199	21.3
計		7,869,112	11,583,573	10,821,262	△ 762,311	△ 6.6

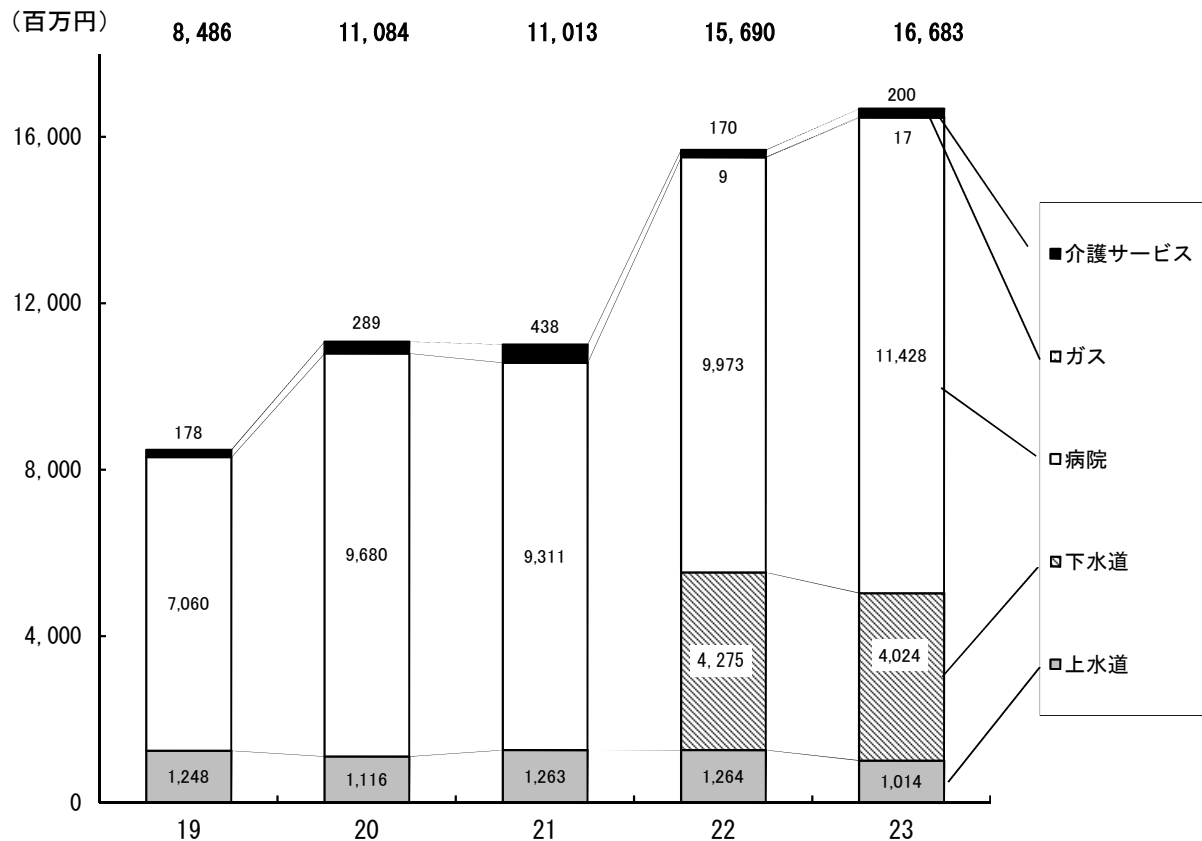
第 9 表 資本的収入への他会計繰入金

（単位：千円、%）

項目	年度	H21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
上水道		568,680	546,892	332,979	△ 213,913	△ 39.1
下水道		-	1,042,390	857,313	△ 185,077	△ 17.8
病院		2,463,487	2,484,659	4,637,610	2,152,951	86.6
ガス		-	-	-	-	-
介護サービス		111,556	32,609	33,697	1,088	3.3
計		3,143,723	4,106,550	5,861,599	1,755,049	42.7



第8図 他会計繰入金の推移



## 6 累積欠損金

累積欠損金とは、営業活動によって欠損を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金、資本剰余金等により補填が出来なかった各事業年度の損失（赤字）額が累積されたものである。

平成23年度末において累積欠損金を有する事業数は12事業である。

また、累積欠損金の額は32,774百万円で、前年度（29,192百万円）に比べ3,582百万円（12.3%）増加しており、累積欠損金比率は29.8%と前年度（27.2%）より2.6ポイント上昇している。

累積欠損金を有する事業の占める割合が大きい事業は、病院事業が7事業で30,777百万円（累積欠損金合計額の93.9%）を占めている。

なお、前年度に比べ累積欠損金の額が減少した事業は、水道事業で398百万円（対前年度比△21.7%）の減少となっている。一方、増加した事業は、減価償却費にかかる過年度損益修正損を計上したこと等により、病院事業で3,587百万円（同13.2%）、介護サービス事業で394百万円（同230.7%）の増加となっている。

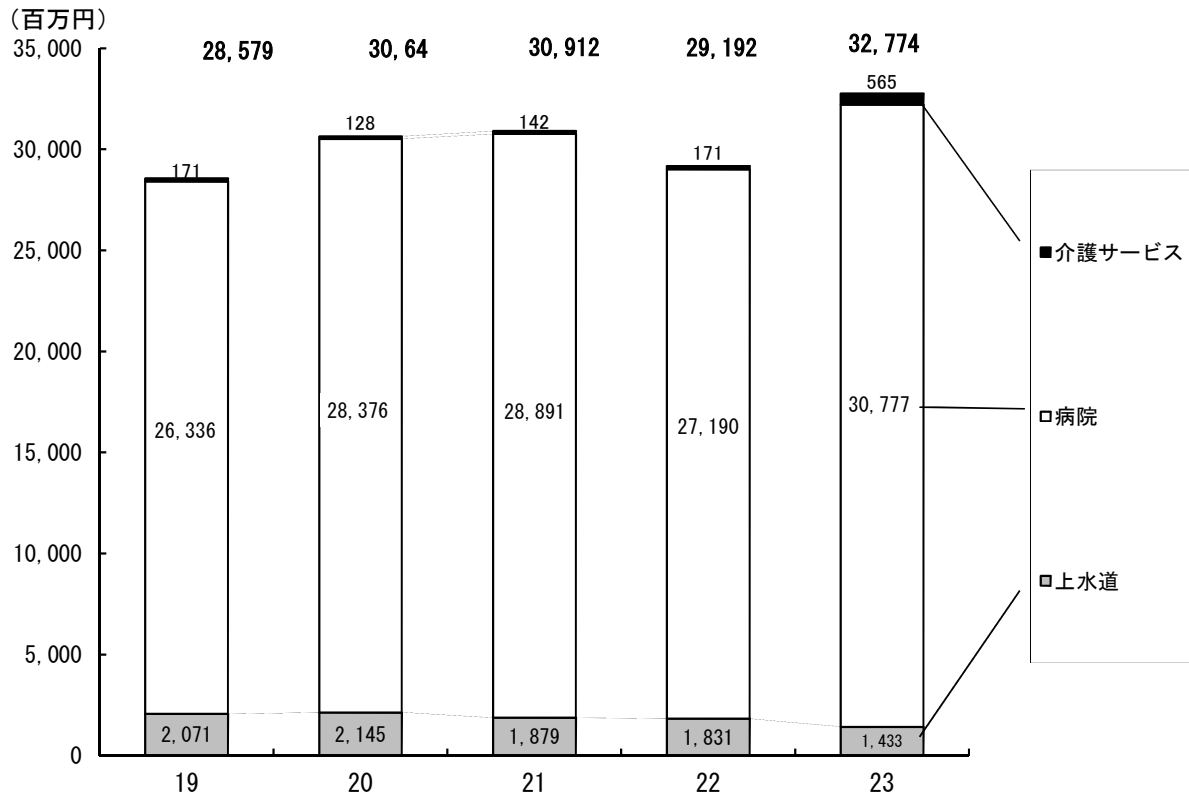
累積欠損金は、経常費用に占める資本費（減価償却および支払利息）の比率の高い事業において増大する傾向がある。このうち、減価償却費は現金支出を伴わないため、これを原因とする損失（赤字）額により生じた累積欠損金が事業全体の資金不足に直接つながるものではないが、累積欠損金が多い事業においては、より一層の収益性の向上を図るとともに、経常費用の合理化等により効率性を発揮し、経営の健全化に努めていくことが求められている。

第 10 表 累積欠損金の状況

(単位：千円、%)

項目	年度	21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
上水道		1,879,415	1,831,167	1,433,083	△ 398,084	△ 21.7
下水道		-	-	-	-	-
病院		28,890,664	27,190,080	30,776,676	3,586,596	13.2
ガス		-	-	-	-	-
介護サービス		142,289	170,736	564,677	393,941	230.7
計		30,912,368	29,191,983	32,774,436	3,582,453	12.3

第 9 図 累積欠損金の推移



## 7 不良債務

不良債務とは、貸借対照表日現在において、流動負債の額が流動資産の額（翌年度へ繰り越される支出の財源充当額を差し引いた額）を超える額である。

平成23年度末において不良債務を有する事業数は、前年度から1事業減少し、ゼロとなった。

不良債務額は、病院事業で前年度末（325百万円）から325百万円（皆減）減少し、不良債務が解消された。

不良債務の発生は、貸借対照表日現在において、資金繰りが不可能となっていることを示すものであり、公営企業がその本来の目的である公共の福祉を増進していくためにも、経営の健全化に努めることが必要である。

第 11 表 不良債務の状況

(単位：千円、%)

項目	年度	21	22 (A)	23 (B)	対前年度比較	
					(B) - (A) (C)	(C) / (A)
上水道		-	-	-	-	-
下水道		-	-	-	-	-
病院		648,834	325,255	-	△ 325,255	皆減
ガス		-	-	-	-	-
介護サービス		-	-	-	-	-
計		648,834	325,255	-	△ 325,255	皆減